

# 1 概 況

# 1 沿革

古河市は、平成17年9月12日に旧古河市、旧猿島郡の総和町、三和町、の1市2町が合併して誕生しました。関東平野のほぼ中央、茨城県の最西端に位置し首都圏60キロメートルという地理的条件に恵まれ人口約14.1万人の茨城県西地域の中心的な都市です。

旧古河市は、「万葉集」や「吾妻鏡」に名前が出てくるなど、その歴史は古代にさかのぼります。中世の室町時代、近世の江戸時代においても関東の政治・文化の中心の一つとして栄えました。明治初期、廃藩置県により古河藩は、古河県、印旛県、千葉県へと編入され、明治以降は製糸業が産業の支えとなっていました。昭和25年に県内で4番目の市制施行、昭和30年の猿島郡新郷村との合併を経て、県西地方の中核的な都市として発展しました。

旧総和町は、昭和30年の猿島郡香取村、桜井村、勝鹿村、岡郷村の4か村合併により総和村が誕生し、昭和43年に町制を施行いたしました。新農村建設計画や工業誘致条例の制定、首都圏整備法の都市開発区域の指定、丘里・北利根両工業団地や駒羽根住宅団地の造成等により、純農村から田園工業都市的形態へと移り変わりました。

旧三和町は昭和30年の猿島郡幸島村、八俣村、結城郡名崎村の3か村合併により三和（みわ）村が誕生し、昭和44年に町制（さんわ）を施行いたしました。古くから農業を中心として発展してきましたが、首都60キロメートル圏内という特性から、都市近郊型の露地野菜や花き栽培等の新しい農業が展開されるとともに、住宅開発が進展するなど、純農村型から農住混在型の地域構造に変化しました。

## 2 3市町のあゆみ

西暦	年号	月	事 項
1950	昭和25	8月	市制施行(1日)(旧古河市)
1953	28	2月	NHKテレビ本放送開始
1954	29	7月	自治体警察古河市警察署を県警本部に移管(旧古河市)
1955	30	2月	猿島郡幸島村・八俣村、結城郡名崎村が合併し三和(みわ)村が誕生(11日)(旧三和町)
		3月	古河市に猿島郡新郷村を編入(15日)(旧古河市)
			猿島郡香取村、桜井村、勝鹿村、岡郷村が合併し総和村が誕生(16日)(旧総和町)
1956	31	1月	三和村初の村議会選挙が行われる(旧三和町)
1957	32	9月	三和村区長会発足(旧三和町)
		11月	千賀覚次氏名誉市民に推挙(旧古河市)
1960	35	3月	上水道事業開始(旧古河市)
		9月	テレビのカラー放送開始
1962	37	4月	有線放送開始(旧三和町)
1964	39	5月	総和中体育館でNHKテレビ「のど自慢大会」が開催される(旧総和町)
		10月	東京オリンピック開催
1966	41	9月	献血最優秀地区として厚生大臣表彰(旧古河市)
1967	42	4月	小・中学校完全給食開始(旧総和町)
		11月	地方自治発展業績により自治大臣賞受賞(旧総和町)
1968	43	1月	町制施行(1日)(旧総和町)
		2月	渡良瀬総合運動場完成(旧古河市)
		8月	総和局電話ダイヤル化(旧総和町)
		11月	古河市文化賞制定(旧古河市)
1969	44	1月	町制施行され、三和(さんわ)町に名称変更(1日)(旧三和町)
		4月	県立古河第三高等学校開校
		5月	学校給食センターが完成し、給食を開始(コールドチェーン方式)(旧三和町)
		9月	学校給食共同調理場新築(旧古河市)
			保健文化賞受賞(旧古河市)
1970	45	4月	県立総和工業高等学校開校
		8月	佐藤洋之助、松岡武保両氏が名誉市民に推挙(旧古河市)
1971	46	1月	市街化区域、市街化調整区域設定(旧古河市・旧総和町)
		2月	地域集団電話(農集電話)が開通(旧三和町)
		3月	茨城西南地方広域市町村圏事務組合設立
			町章の制定(旧総和町)
		10月	高橋欣一郎氏名誉町民に推挙(旧総和町)
			役場新庁舎完成(旧総和町)
			第1回町民体育大会開催(旧三和町)
		8月	4町1村の共同事業ゴミ処理場が境町に完成(旧総和町・旧三和町)
1973	48	6月	全町電話自動化が実現(旧三和町)
		10月	石油ショック始まる
		11月	第1回町民体育大会開催(旧総和町)
1974	49	3月	全国高校バレーボール選抜大会で県立古河一高優勝
		4月	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部が発足
			思川浄水場完成(旧古河市)
		5月	町営水道給水開始(旧総和町)
		10月	茨城国体開催
			第29回茨城国体バレーボール競技会開催(旧古河市)
1975	50	1月	合併20周年記念式典、総和音頭制作発表披露(旧総和町)
		3月	県指定文化財中山家移築工事完成(旧古河市)
			「三和町農村総合整備計画書」策定(旧三和町)
		4月	塚田義一氏名誉町民に推挙(旧総和町)
		5月	広域消防総和分署庁舎完成(旧総和町)
		6月	広域消防三和分署庁舎完成(旧三和町)
		12月	国指定文化財飛田家移築完成(旧古河市)
1976	51	4月	「総和町総合振興計画基本計画」策定(旧総和町)
			有線放送通話を廃止し、放送だけに(公社電話の普及率70.5%)(旧三和町)
		9月	「三和町総合振興計画基本構想」策定(旧三和町)
		10月	「古河市財政再建計画」策定(旧古河市)
		12月	「古河市総合計画」策定(旧古河市)
1977	52	1月	農村総合整備モデル事業始まる(旧三和町)
		3月	第1回桃まつり(旧古河市)

西暦	年号	月	事 項
1978	昭和 53	1月	三和祇園ばやしが県指定無形民族文化財に指定(旧三和町)
		5月	東北本線古河駅付近連続立体交差高架事業(通称:鉄道高架事業)起工式(旧古河市)
		9月	有線放送から屋外放送に全面切り替え(旧三和町)
		12月	上水道事業通水開始(旧三和町)
1979	54	1月	全国高校サッカー選手権大会で県立古河一高優勝
		11月	三和音頭が制定される(旧三和町)
1980	55	4月	市の木「けやき」・市の花「ハナモモ」を決定(旧古河市)
		8月	市民憲章制定(旧古河市)
1981	56	1月	全国高校サッカー選手権大会で県立古河一高2度目の優勝
		4月	県立総和高等学校開校
		10月	第1回三和町産業祭開催(旧三和町)
1982	57	3月	「新三和町総合振興計画」策定(旧三和町)
1983	58	8月	故秋山才助氏名誉町民に推挙(旧総和町)
1984	59	3月	鉄道高架事業完成(旧古河市)
		7月	第1回総和町民号実施(旧総和町)
		11月	1万円札など新紙幣発行
1985	60	2月	町民憲章制定・町の木「けやき」・町の花「コスモス」を決定(11日)(旧三和町)
		3月	町民憲章制定・町の木「もくせい」・町の花「サルビア」を決定(16日)(旧総和町)
			古河駅東口広場の整備完了(旧古河市)
			科学万博が筑波研究学園都市で開催(3/17~9/16)
		4月	栃木県喜連川町と姉妹都市の提携(旧古河市)
	10月	広域中央運動公園総合体育館完成	
		総和町合併30周年記念式典(旧総和町)	
1986	61	1月	タイムカプセル埋設(旧総和町)
		3月	三和北中でNHKテレビ「のど自慢大会」が開催される(旧三和町)
		4月	県立三和高等学校開校
			総和町コミュニティセンター開館(旧総和町)
		9月	非核平和都市宣言(旧古河市)
	11月	市街化区域、市街化調整区域が決定(旧三和町)	
1987	62	1月	地域住民の交流の場としてコミュニティセンターを各地に新設(旧古河市)
		3月	「三和農業振興地域整備計画書」策定(旧三和町)
		4月	平和都市宣言(旧総和町)
		7月	第1回全国三和サミットが京都府三和町で開催される(22日~23日)(旧三和町)
			古河市役所新庁舎完成(旧古河市)
	10月	「新三和町総合振興計画(後期基本計画)」策定(旧三和町)	
1988	63	4月	古河・総和・野木・北川辺の4市町の「三国サミット」開催(旧古河市・旧総和町)
		7月	広域中央運動公園陸上競技場完成(旧総和町)
			全国三和友好姉妹都市提携書が調印(旧三和町)
		11月	自治制公布100年記念で全国表彰(旧古河市)
		山形県真室川町と姉妹都市盟約を締結(旧総和町)	
1989	平成 元年	1月	昭和天皇崩御(1/6)、翌日「平成」と改元
			大和田「磐戸神楽」が県指定無形民族文化財に指定(旧三和町)
		3月	町制20周年記念事業の一環として、タイムカプセル埋設(旧三和町)
		4月	消費税実施
	6月	平野二郎氏を名誉市民に推挙(旧古河市)	
1990	2	4月	福井県大野市と姉妹都市の提携(旧古河市)
		6月	関戸の宝塔・女沼のささらなど町指定文化財の指定開始(旧総和町)
		11月	古河歴史博物館開館(旧古河市)
1991	3	3月	「第4次総和町総合計画」策定(旧総和町)
			「第3次三和町総合振興計画」策定(旧三和町)
			篆刻美術館開館(旧古河市)
1992	4	3月	古河歴史博物館が「日本建築学会賞」を受賞(旧古河市)
		4月	潤いのあるまちづくりに関し、自治大臣賞受賞(旧古河市)
			新4号国道前線開通
		5月	「三和町文化振興計画」策定(旧三和町)
		8月	故青木保夫氏名誉町民に推挙(旧総和町)
	10月	ネーブルパーク竣工式(旧総和町)	
1993	5	5月	第1回女性模擬議会開催(旧三和町)
		7月	第1回古河おんなまつり開催(旧古河市)
		10月	「三和町コミュニティ推進計画」策定(旧三和町)

西暦	年号	月	事 項
1994	平成6	4月	パスポート窓口、開設(旧古河市)
		8月	古河クリーンセンター完成(旧古河市) 町コミュニティ推進協議会が設立(旧三和町)
1995	7	1月	福祉の森診療所開設(旧古河市)
		3月	古河街角美術館開館(旧古河市)
		4月	中国三河市を友好訪問(旧総和町)
		8月	模擬議会開催(旧総和町) NHK夏期巡回ラジオ体操開催(旧総和町)
1996	8	10月	総和町合併40周年記念式典(旧総和町)
		4月	福祉の森総合会館会館(旧古河市)
		6月	大久保翠洞氏・川島恂二氏に市民榮譽賞を授与(旧古河市)
		7月	新総和音頭「関東ド・マンナカ」発表(旧総和町)
1997	9	11月	「第3次古河市総合計画」策定(旧古河市)
		4月	町のシンボルマーク決定(旧三和町)
1998	10	7月	三国サミット公共施設相互利用開始(旧古河市・旧総和町)
		10月	全国足利氏ゆかりの会総会開催(旧古河市) 総合体育館でNHKテレビ「のど自慢大会」が開催される(旧総和町)
		12月	地球温暖化防止京都会議開催
		2月	長野冬季オリンピック開催
1999	11	6月	市内循環バス「ぐるりん号」運行開始(旧古河市)
		10月	古河文学館開館(旧古河市) 姉妹都市提携10周年記念・真室川町と災害時における相互応援協定締結(旧総和町)
		8月	上尾崎地区オウム対策協議会結成(旧三和町)
		1月	優良情報化団体として自治大臣表彰(旧古河市)
2000	12	5月	三和町オウム真理教対策協議会設立(旧三和町)
		6月	県から花き銘柄産地に指定される(旧三和町)
		10月	第1回「関東ド・マンナカ祭り」開催(旧総和町)
		11月	国際規格ISO14001認証取得(旧総和町) 中国三河市と国際友好交流都市協定を締結(旧総和町)
2001	13	3月	国際規格ISO14001認証取得(旧古河市)
		4月	介護保険制度スタート 図書館資料館「燦SUN館」が開館(旧三和町)
		8月	緑化推進に関する内閣総理大臣表彰(旧古河市)
		9月	市制50周年記念式典を挙行(旧古河市)
2002	14	10月	古河市・岩井市・猿島郡内の公共施設相互利用開始
		12月	タイムカプセル埋設(旧古河市)
		3月	「第5次総和町総合計画」策定(旧総和町) 「第4次三和町総合振興計画」策定(旧三和町) 古河市消防署新庁舎完成(旧古河市)
		5月	子供模擬議会開催(旧総和町)
2003	15	8月	「三和町都市計画マスタープラン」策定(旧三和町)
		1月	欧州通貨統一(ユーロ)
		4月	「三和町地球温暖化対策実行計画」策定(旧三和町)
		12月	古河市役所において3市町の首長が合併について協議し法定協議会設置に向けて合意(9日)
2004	16	3月	古河市・総和町・三和町合併協議会設立(1日)
		7月	第6回合併協議会で合併協議会の解散が可決(30日)
		9月	青木來三郎氏古河市民榮譽賞受賞(旧古河市)
		10月	古河総合公園がメリナ・メルクーリ国際賞を受賞(旧古河市)
2005	17	1月	永井路子氏を名誉市民に推挙(旧古河市)
		2月	三和町オウム真理教対策協議会解散(旧三和町)
		8月	古河市・総和町・三和町合併協議会が再開(20日)
		9月	三和町役場新庁舎開庁(旧三和町)
2005	17	11月	中国三河市交流10周年記念植樹(旧総和町)
		12月	古河市・総和町・三和町合併推進大会開催
		2月	古河市・総和町・三和町合併協定調印式(27日)
		3月	茨城県知事へ廃置分合を申請(9日)
		5月	総和町合併50周年記念式典(旧総和町)
		9月	三和町閉町式典(3日)(旧三和町) 総和町閉町式典(7日)(旧総和町) 古河市閉庁式典(9日)(旧古河市)

# 古河市のあゆみ

西暦	年号	月	事 項
2005	平成 17	9月	新「古河市」誕生(12日)
		10月	初代市長に白戸仲久氏就任
2006	18	1月	新「古河市」誕生記念式典 福井県大野市、栃木県さくら市、山形県真室川町と「姉妹都市盟約」締結 市章デザイン決定(1,026点から選定)
		3月	「古河市行政改革大綱」が決定
		5月	中国三河市と「国際友好交流都市協定」締結
		8月	第1回古河花火大会
		10月	第18回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006」で10イベント開催
2007	19	3月	「第1次古河市総合計画」策定
		6月	作家・永井路子氏(古河市名誉市民)を古河大使に委嘱
		7月	映画監督・樋口真嗣氏を古河大使に委嘱
		8月	俳優・渡辺徹氏を古河大使に委嘱
	11月	ねんりんピック茨城2007古河市水泳交流大会開催	
2008	20	3月	プロ野球選手・仁志敏久氏を古河大使に委嘱
		4月	自治組織再編
		5月	市の木「ケヤキ」、市の花「ハナモモ」制定
		6月	「古河市国際交流協会」発足
		7月	デマンド交通「愛・あい号」運行開始 高齢者元気アップ事業開始
		8月	市立総和中学校新校舎竣工
		10月	水道料金統一
		11月	第23回国民文化祭「いばらき2008」開催
2009	21	2月	男女共同参画都市宣言
		8月	都市計画道路大和田仁連線開通
		9月	都市計画道路旭町今泉線開通 三人乗り自転車貸出開始
		10月	市長に白戸仲久氏再任 「古河市自治基本条例」制定
2010	22	2月	奥原晴湖画室移築
		3月	「古河市都市計画マスタープラン」策定
		7月	「わたらせ水辺の楽校」開校 観光自転車「コガツ」開始
		8月	住民基本台帳カードの愛称を「MOMOCA」に決定 「第2次古河市行政改革大綱」策定
		9月	関東ド・マンナカ宣言 合併5周年記念式典
		10月	女性消防団員誕生
		11月	愛犬カード「WANCA」交付開始
2011	23	3月	「MOMOCA」による証明書コンビニ交付開始 「第1次古河市総合計画(後期基本計画)」策定 (東日本大震災発生)
		4月	古河市文化協会設立 「ニンジン」県銘柄産地指定
		6月	都市計画道路諸川谷貝線一部開通
		8月	ブックスタート事業開始
2012	24	2月	地域交流センター「はなももプラザ」オープン
		4月	「お休み処 坂長」オープン
		6月	交通安全都市宣言
		7月	渡良瀬遊水地がラムサール条約登録湿地となる
		12月	第2代市長に菅谷憲一郎氏就任
2013	25	1月	羽村市と「災害時相互応援協定」締結
		2月	県西10市町と「県西都市間における災害時相互協定」締結

西暦	年号	月	事 項
2014	26	3月	第1回サンスポ古河はなももマラソン開催 古河市地域防災計画の改訂(東日本大震災による全面的見直し) 市立第四保育所移転改築 県道尾崎境線・筑西幹線(市道柳橋恩名線)開通
		4月	県立古河中等教育学校開校
		6月	「お休み処 坂長」まちづくり功労者国土交通大臣表彰受賞
		7月	道の駅「まくらがの里こが」オープン
		9月	公用車に電気自動車導入
		10月	市立古河第六小学校竣工
		11月	大野市と「姉妹都市の災害時における行政情報発信に関する覚書」締結
		12月	非核平和都市宣言 市公式ホームページリニューアル
		2月	「サニーレタス」「ニガウリ」県銘柄産地指定
		3月	「新市建設計画」改定 「第3次古河市行政改革大綱」策定
2015	27	6月	坂東市、境町、五霞町、茨城県建設業協会境支部と「災害時等における相互 応援に関する協定」締結
		8月	市立学校給食センター完成
		10月	小児医療費助成(マル古)の対象者を18歳を迎えた年度末までに拡大
		1月	三国サミット会議(古河市・加須市・野木町)に板倉町が加入し、関東どまん なかサミット会議となる 既締結の三国サミット会議構成市町に加え、新たに加入した板倉町と「災害 時等における相互応援に関する協定」「公の施設の相互利用に関する協定」 締結
		2月	合併10周年記念キャラクター・ロゴ決定
		3月	県道・結城野田線開通 「若者・子育て世帯」定住促進サポートセンター開設 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)境古河IC開通
		4月	野木町と「観光自転車返却受付施設の相互利用に関する協定」締結
		5月	㈱NTTドコモと「モバイル通信を活用した教育ICTによる新たな学びへの取り 組みと学力向上を目的とした共同研究に関する協定」締結
		6月	小児医療費助成(マル古)の対象者を20歳を迎えた年度末までに拡大
		10月	合併10周年記念式典 市の鳥「カワセミ」、市の魚「フナ」制定 古河総合公園の愛称「古河公方公園」、中央運動公園総合体育館の愛称 「古河はなもも体育館」決定 落語家・春風亭柳橋氏を古河大使に委嘱 アニメーター・浅野恭司氏を古河大使に委嘱
2016	28	12月	古河市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」策定 第2次古河市総合計画「基本構想」議決
		3月	市立古河第一小学校新校舎竣工 第2次古河市総合計画「第1期基本計画」策定 古河市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」策定
		5月	関東どまんなかサミット会議に栃木市が加入し、「災害時等における相互応援 に関する協定」「公の施設の相互利用に関する協定」を再締結
		7月	子育てひろば「駅前ヤンチャ森」オープン 在住外国人支援センター「外国人アットホームin古河」オープン
		10月	古河市シニアボランティアポイント事業開始
		11月	「駅前送迎保育ステーション」オープン
		12月	第3代市長に針谷力氏就任 文部科学省より、教育課程特例校(小学校低・中学年における英語教育)の 指定を受ける
		2月	首都圏中央連絡自動車道(圏央道)茨城県区間全線開通
		3月	駅西地域交流センター「いちょうプラザ」オープン
		6月	古河市コミュニティ推進協議会設立
2017	29	7月	行政事業レビュー開催
		10月	関東どまんなかサミット会議に小山市が加入し、「災害時等における相互応援 に関する協定」「公の施設の相互利用に関する協定」を再締結

### 3 位置

古河市は、関東平野のほぼ中央、茨城県の西端に位置し、西側が埼玉県、北側が栃木県、東側が結城市、八千代町、南側が五霞町・境町・坂東市と隣接しています。

ほぼ全域にわたって平坦な地形で、気候も概ね温暖であることから、生活の場・生産の場として恵まれた自然条件にあるといえます。

また、東京やさいたま市、宇都宮市までの距離が50～60キロメートルという地理的条件に加え、JR宇都宮線をはじめ、国道4号や新4号国道等の交通ネットワークが整備されていることから、さいたま新都心、小山、宇都宮との交流が盛んであり、近年、人口・住宅・工業化の集積が進んできました。

### 4 土地

総面積(k㎡)	位置(度)		広狭(km)		海拔(m)
	東経	北緯	東西	南北	
123.58	139° 45	36° 10	16.06	12.58	17.5

### 5 地目別土地面積

古河市		各年1月1日現在 単位:㎡			
年次	宅地	田	畑	山林	雑種地
平成25年	28,984,665	16,034,033	38,320,205	8,707,217	8,355,097
平成26年	29,488,462	15,962,250	38,112,728	8,660,691	8,155,666
平成27年	29,673,150	15,895,361	37,935,231	8,560,218	8,251,906
平成28年	29,829,670	15,881,047	37,733,427	8,405,839	8,430,179
平成29年	30,335,150	15,841,591	37,531,464	8,156,665	8,348,965

資料:資産税課(土地概要調書)



# 6 気象

区分	平成25年					平成26年					平成27年				
	気温(℃)			降水量 (mm)	日照時間 (h)	気温(℃)			降水量 (mm)	日照時間 (h)	気温(℃)			降水量 (mm)	日照時間 (h)
	平均 気温	最高 気温	最低 気温			平均 気温	最高 気温	最低 気温			平均 気温	最高 気温	最低 気温		
年間	15.1	38.1	-6.1	1233.0	2266.4	14.7	38.4	-5.9	1412.0	2273.3	15.4	37.6	-4.9	1418.5	2077.8
1月	2.7	14.2	-6.1	40.0	245.3	3.2	14.8	-5.9	14.5	237.6	4.1	17.2	-4.3	46.5	213.0
2月	3.8	18.0	-5.5	28.5	194.2	3.6	19.8	-5.3	105.0	185.2	4.2	17.9	-4.9	40.0	187.2
3月	10.1	25.8	-1.5	30.0	200.1	8.3	24.4	-3.6	67.0	220.6	8.9	24.6	-1.6	61.0	202.6
4月	12.9	26.0	1.3	151.0	197.6	13.5	25.7	1.8	80.5	239.5)	13.6	30.2	0.4	84.0	158.0
5月	18.6	30.0	4.5	53.5	249.8	19.1)	32.1)	7.0)	91.5	245.9	20.5	32.3	8.0	77.0	244.4
6月	22.1	31.2	12.8	97.5	119.4	22.2)	31.7)	16.8)	330.0	145.1	21.8	31.9	12.7	189.5	130.8
7月	25.8	37.2	19.3	133.5	160.6	25.6	36.5	18.7	164.5	176.6	26.1	37.0	18.2	213.0	170.5
8月	27.8	38.1	19.5	83.5	209.5	26.4	38.4	19.0	82.5	157.6	26.0	37.6	16.9	119.5	138.2
9月	23.3	36.9	11.0	240.0	161.6	21.4	31.9	11.2	99.0	161.0	21.9	32.7	14.2	382.0	118.0
10月	18.2	32.2	6.1	281.0	127.4)	16.9	29.9	5.4	278.0	158.6	17.2	28.6	4.6	38.5	195.3
11月	10.2	21.4	-0.2	36.5	193.9	11.6	22.1	1.4	61.0	145.0	12.5	21.6	1.6	135.0	126.0
12月	5.3	16.0	-3.0	58.0	207.0	4.3	13.4	-5.7	38.5	200.6	7.4	17.9	-3.0	32.5	193.8



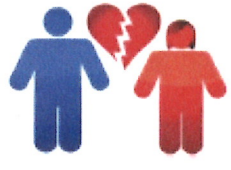




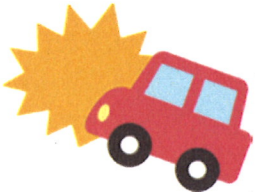



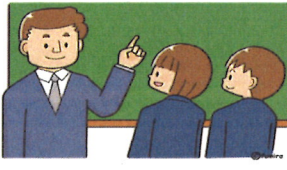


区分	平成28年					平成29年				
	気温(℃)			降水量 (mm)	日照時間 (h)	気温(℃)			降水量 (mm)	日照時間 (h)
	平均 気温	最高 気温	最低 気温			平均 気温	最高 気温	最低 気温		
年間	15.3	37.1	-4.9	1234.5	1992.9	14.7	37.5	-4.4	1083.0	2164.2
1月	4.0	15.6	-4.9	49.5	222.6	3.7	17.3	-4.4	19.0	234.2
2月	5.1	21.1	-3.8	38.0	187.8	5.1	20.0	-3.6	11.5	232.9
3月	8.9	21.7	-2.5	57.0	182.9	7.2	18.1	-2.5	66.5	208.6
4月	14.4	26.4	2.1	102.0	156.5	13.7	28.3	2.1	69.5	217.6
5月	19.6	32.4	10.1	65.5	196.8	19.5	33.2	7.7	51.5	197.9)
6月	22.3	32.8	10.8	73.0	147.3	21.7	31.0	13.4	64.5	179.1
7月	24.9	35.2	18.6	119.5	121.1	27.1	35.6	20.9	146.5	152.2
8月	26.8	37.1	19.9	282.5	167.7	25.7	37.5	19.7	139.5	74.6
9月	23.8	35.2	17.0	224.0	92.9	22.2	33.0	14.4	113.0	144.6
10月	17.4	32.7	6.1	57.5	148.4	16.0	28.4	5.0	368.5	112.1
11月	9.8	20.2	-2.2	108.0	151.8	9.8	22.2	-1.0	22.0	180.0
12月	6.4	17.1	-4.2	58.0	217.1	4.6	16.3	-4.0	11.0	230.4

観測点:古河地域気象観測所

資料:水戸地方気象台

※値)は、準正常値。品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合。

# 7 市民のくらし

 (平成29年10月1日現在常住人口) <b>人口</b> 140,556 人 <b>世帯</b> 54,297世帯	 (平成28年中) <b>出生</b> 1日当たり 2.87 人	 (平成28年中) <b>婚姻</b> 1日当たり 1.8 組	 (平成28年中) <b>離婚</b> 1日当たり 0.8 組
 (平成28年中) <b>死亡</b> 1日当たり 4.1 人	data-bbox="345 275 470 345"/> (平成28年中) <b>転入</b> 1日当たり 17.4 人 <b>転出</b> 1日当たり 17.1 人	 (平成29年4月1日現在) <b>公園面積</b> 1人当たり 11.8 m <sup>2</sup>	 (平成28年度) <b>ごみ収集量</b> 1日1世帯当たり 2.6 kg
 (平成28年度) <b>火災発生件数</b> 1ヶ月当たり 3.3 件	 (平成28年度) <b>救急車出場</b> 1日当たり 16.4 件	 (平成26年12月31日現在) <b>医師</b> ：市民791.8人に1人 <b>歯科医</b> ：市民1221.8人に1人	 (平成28年3月31日現在) <b>自家用乗用車保有台数</b> 1世帯当たり 1.7 台
 (平成28年中) <b>交通事故(人身事故)</b> 1日当たり 1.2 件	 (平成28年度) <b>水道</b> 1日1戸当たり給水量 0.8 m <sup>3</sup>	 (平成28年度) <b>古河駅乗客数</b> 1日当たり 13,473 人	 (平成28年度) <b>一般会計決算額(歳出)</b> 1人当たり 349,394 円
 (平成28年度) <b>市税</b> 1人当たり 138,895 円	 (平成29年5月1日現在) <b>教員</b> 小学校：児童 14.7人に1人 中学校：生徒 13.4人に1人	 (平成28年4月1日現在) <b>消防職員</b> 市民 1,132.9人に1人	 (平成29年4月1日現在) <b>市職員</b> 市民 161.6人に1人